

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県平成30年第52週、平成31年第1週の発生動向

□ トピックス

・**インフルエンザ(定点把握対象)**：第1週(12/31~1/6)の定点当たりの報告数は13.57と、今シーズン初めて流行注意報レベル基準値(10.0)を超えました。昨シーズンと比較して3週間遅くなっています。詳細後述。

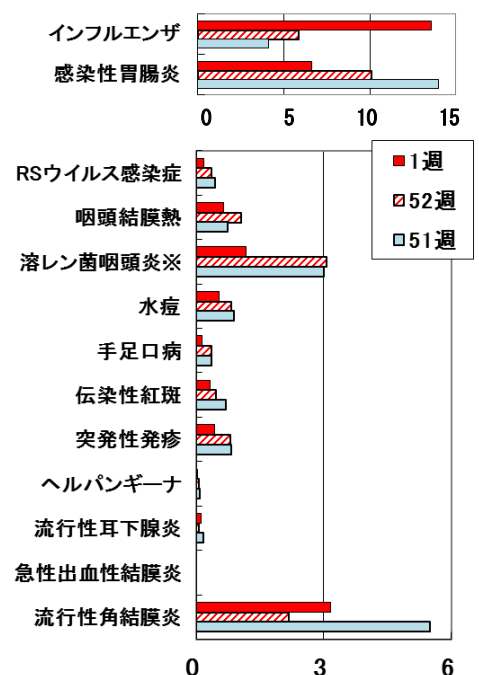
□ 全数報告の感染症(1週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。4類感染症：つつが虫病4例。5類感染症：アメーバ赤痢1例、カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、梅毒1例、百日咳10例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	70歳代	男	結核性胸膜炎	胸水貯留
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、刺し口
		都城	50歳代	男	—	刺し口、発疹
		日南	50歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	30歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	40歳代	男	腸管アメーバ症	腹痛
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	尿路感染症
	梅毒	宮崎市	30歳代	女	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	右顎部潰瘍

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群				症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	30歳代	
5類	百日咳	都城	6例		3	3		持続する咳、夜間の咳き込み
		日南	2例	1			1	
		高鍋	2例			2		

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

● 第52週

定点医療機関からの報告総数は974人(定点あたり25.2)で、前週比81%と減少した。前週(第51週)に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は伝染性紅斑と感染性胃腸炎である。

● 第1週

定点医療機関からの報告総数は1,173人(定点あたり26.9)で、前週比107%と増加した(年末年始の休診含む)。前週(第52週)に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病である。

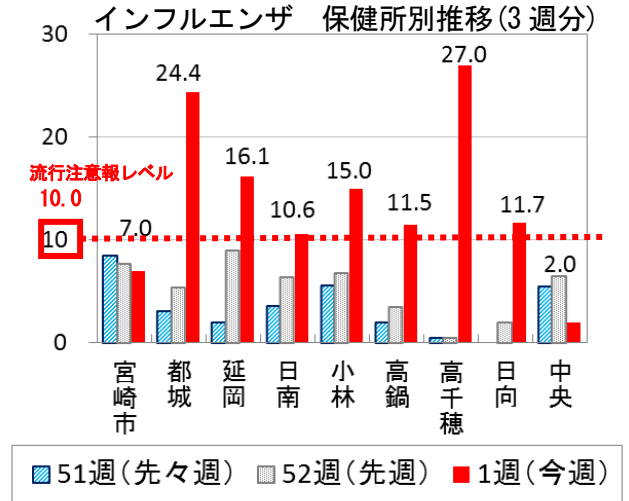
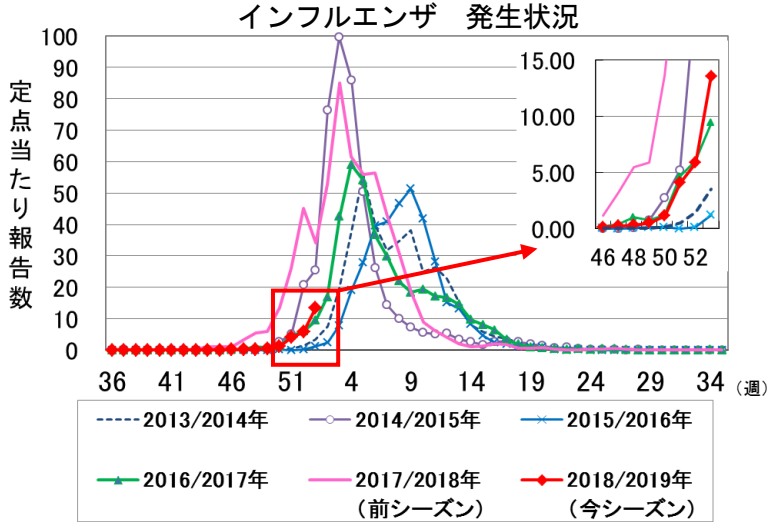
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は787人(13.6)で、前週(第52週)比232%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(20.3)の約0.7倍である。高千穂(27.0)、都城(24.4)保健所からの報告が多く、年齢別では10歳未満が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

- 第52週
報告なし。
- 第1週
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	52週	1週
宮崎市	なし	なし
都城	水痘(1.3)	インフルエンザ(24.4)
延岡	咽頭結膜熱(5.8), 水痘(1.3)	インフルエンザ(16.1), 水痘(2.0)
日南	水痘(3.0)	インフルエンザ(10.6), 伝染性紅斑(2.0)
小林	なし	インフルエンザ(15.0)
高鍋	なし	インフルエンザ(11.5)
高千穂	なし	インフルエンザ(27.0)
日向	なし	インフルエンザ(11.7), 水痘(1.3)
中央	なし	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

・咽頭結膜熱(3.0)

・水痘(2.0)

・伝染性紅斑(2.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・水痘(1.0)

・インフルエンザ(10.0)

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成30年12月31日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
<i>Salmonella</i> Stanley(O4:d:1,2)	0~4歳	男	2018.12.10		便	2018.12.14
<i>Salmonella</i> Stanley(O4:d:1,2)	0~4歳	男	2018.12.18		便	2018.12.27
<i>Salmonella</i> Bareilly(O7:y:1,5)	40歳代	女	2018.12.20		シロツカー糸	2018.12.27

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	女	2018.12.14	二相性脳症、発熱、熱性けいれん、上気道炎(咽頭炎)、脳症、発疹(紅斑)	髄液	2018.12.19
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2018.12.19	肝障害、肝機能障害、肝炎、筋原酵素上昇	咽頭ぬぐい液	2018.12.27
単純ヘルペスウイルス1型	30歳代	女	2018.10.30	麻疹疑い、38.5℃、口内炎、上気道炎(咽頭炎)、発疹、リンパ節腫脹	咽頭ぬぐい液	2018.12.19
パルボウイルスB19	10歳代	男	2018.12.10	麻疹疑い、発熱、頭痛、発疹(紅斑)、リンパ節腫脹、結膜炎	咽頭ぬぐい液 尿 血液	2018.12.18
パルボウイルスB19	10歳代	女	2018.11.22	風疹疑い、40.0℃、発疹	咽頭ぬぐい液 尿 血液	2018.12.18
インフルエンザウイルスAH3	70歳代	男	2018.11.28	インフルエンザA型、38.8℃、上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)	咽頭ぬぐい液	2018.12.27
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	女	2018.12.02	インフルエンザA型、40.0℃、上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.12.27
インフルエンザウイルスAH1 pdm09	5～9歳	女	2018.12.03	インフルエンザA型、39.4℃、頭痛、嘔気、嘔吐	鼻汁	2018.12.27
インフルエンザウイルスB型 (ビクトリア系統)	20歳代	男	2018.11.02	インフルエンザB型、38.1℃、咽頭炎、咽頭痛	鼻汁	2018.12.27

○麻疹疑いの患者1名と風疹疑いの患者1名からパルボウイルスB19 (PVB19)が検出された。PVB19は伝染性紅斑の起因ウイルスである。伝染性紅斑は小児に多くみられ、予後良好であることが多い。しかし、不顕性感染からの感染や、妊婦が感染すると流産したり胎児水腫を起こすため注意が必要である。現在、本県で伝染性紅斑の大きな流行はみられていないが、全国的に報告数が増加しているため、今後の動向に注意が必要である。

🇯🇵 全国 2018 年第 51、52 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

● 第 51 週

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	349 例			
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	20 例	
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	8 例	つつが虫病 17 例
	デング熱	3 例	マラリア	2 例	レジオネラ症 38 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 38 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	10 例	クリプトスポリジウム症 1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群 12 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症 42 例
	水痘(入院例)	6 例	梅毒	79 例	播種性クリプトコックス症 4 例
	破傷風	1 例	百日咳	250 例	風しん 84 例
	麻しん	2 例			

● 第 52 週

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	376 例			
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	21 例	
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	6 例	つつが虫病 30 例
	デング熱	3 例	日本紅斑熱	1 例	マラリア 1 例
	レジオネラ症	23 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 38 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	14 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症 1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症 54 例
	水痘(入院例)	12 例	梅毒	64 例	播種性クリプトコックス症 2 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳 234 例
	風しん	84 例	麻しん	6 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症 1 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

●第51週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 128%と増加した。なお、前週と比較して増加した疾患はインフルエンザと水痘で、減少した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病である。

インフルエンザの報告数は 39,589 人(8.1)で、前週比 240%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(7.7)の約 1.1 倍である。愛知県(23.6)、北海道(22.7)からの報告が多く、年齢別では 5～9 歳が全体の約 3 割を占めた。

●第52週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週(第51週)比 94%と減少した。なお、第52週に増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は手足口病とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎である。

インフルエンザの報告数は 54,517 人(11.2)で、前週(第51週)比 139%と増加した。なお、例年同時期の定点当たり平均値*(9.7)の約 1.2 倍である。北海道(32.1)、愛知県(30.5)、岐阜県(20.3)からの報告が多く、年齢別では 5～9 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第52週(12月24日～12月30日)

疾病名		第51週	第52週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	242	345	115	54	63	32	34	21	1	12	13
	定点あたり	4.10	5.85	7.19	5.40	9.00	6.40	6.80	3.50	0.50	2.00	6.50
RSウイルス 感染症	報告数	16	13	4		2	5	1	1			
	定点あたり	0.44	0.36	0.40	0.00	0.50	1.67	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	27	38	1	3	23	5		4		1	1
	定点あたり	0.75	1.06	0.10	0.50	5.75	1.67	0.00	1.00	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	108	110	28	14	25	8	3	24		3	5
	定点あたり	3.00	3.06	2.80	2.33	6.25	2.67	1.00	6.00	0.00	0.75	5.00
感染性胃腸炎	報告数	503	362	51	64	31	57	59	27	11	51	11
	定点あたり	13.97	10.06	5.10	10.67	7.75	19.00	19.67	6.75	11.00	12.75	11.00
水痘	報告数	32	30	5	8	5	9		1		2	
	定点あたり	0.89	0.83	0.50	1.33	1.25	3.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	13	13	7	4	2						
	定点あたり	0.36	0.36	0.70	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	25	17	11	1		5					
	定点あたり	0.69	0.47	1.10	0.17	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	29	9	6	5		3	4		1	1
	定点あたり	0.83	0.81	0.90	1.00	1.25	0.00	1.00	1.00	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	2	1		1						
	定点あたり	0.08	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	2			1	1					
	定点あたり	0.17	0.06	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	33	13	9	1	3						
	定点あたり	5.50	2.17	3.00	0.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～52週)

2類感染症	結核	162例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	39例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	12例
	つつが虫病	60例(3)	デング熱	1例	日本紅斑熱	19例
	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例(1)	ウイルス性肝炎	7例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	15例(1)
	急性弛緩性麻痺	5例	急性脳炎	7例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	24例	水痘(入院例)	2例	梅毒	10例(1)
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	4例	百日咳	318例(9)
	風しん	3例				

()内は今週届出分、再掲

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2019年 第01週(12月31日～01月06日)

疾病名		第52週	第01週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	345	787	105	244	113	53	75	69	54	70	4
	定点あたり	5.85	13.57	7.00	24.40	16.14	10.60	15.00	11.50	27.00	11.67	2.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	6	2			1	1			2	
	定点あたり	0.36	0.17	0.20	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	38	23	4	1	11	1	1	3		2	
	定点あたり	1.06	0.64	0.40	0.17	2.75	0.33	0.33	0.75	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	110	42	8	9	9	2		9		5	
	定点あたり	3.06	1.17	0.80	1.50	2.25	0.67	0.00	2.25	0.00	1.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	362	239	35	59	11	33	47	28		21	5
	定点あたり	10.06	6.64	3.50	9.83	2.75	11.00	15.67	7.00	0.00	5.25	5.00
水痘	報告数	30	19	3	1	8		2			5	
	定点あたり	0.83	0.53	0.30	0.17	2.00	0.00	0.67	0.00	0.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	13	5	1	1		1			2		
	定点あたり	0.36	0.14	0.10	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	17	12	6			6					
	定点あたり	0.47	0.33	0.60	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	16	6	5	2			2		1	
	定点あたり	0.81	0.44	0.60	0.83	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1	1								
	定点あたり	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	4	2		1	1					
	定点あたり	0.06	0.11	0.20	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	19	17		2						
	定点あたり	2.17	3.17	5.67	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患報告数(2019年第1週)

4類感染症	つつが虫病	1例
5類感染症	百日咳	1例